

会社説明会資料

平成21年3月23日



株式会社エムビーエス(福証Q - Board・1401)

〒755-0067 山口県宇部市小串74番地の3

電話:0836-37-6585(代表) / FAX:0836-37-6586

E-mail : info@homemakeup.co.jp

<http://www.homemakeup.co.jp>

本資料は、当社の事業内容及び事業戦略に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではありません。また本資料に記載した意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性及び完全性を保証し又約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

1. 第12期(21/5期) 第2四半期決算概要について
 - 1-(1) 損益計算書の概要
 - 1-(2) 貸借対照表の概要
2. 第12期(21/5期通期)重点施策について
3. 第12期(21/5期通期)業績予想について
4. 施工事例
5. 今後の事業戦略について

1. 第12期(21/5期)第2四半期決算概要について



1-(1) 損益計算書の概要

	19年5月期(中間)		20年5月期(中間)		21年5月期(第2四半期)		
	金額 (百万円)	100分比 (%)	金額 (百万円)	100分比 (%)	金額 (百万円)	100分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	376	100.0	803	100.0	404	100.0	
営業利益	22	6.0	28	3.6	6	1.6	
経常利益	35	9.4	9	1.2	76	18.8	
法人税調整額	15	3.9	13	1.6			
当期中間期純利益	20	5.4	6	0.7	76	18.8	

平成21年5月期(第2四半期)の増減要因は次ページを参照

・減収減益要因について

売上高減収要因

- ・ 工事売上高は順調に推移するものの、不動産事業(セキユメゾン)を一時的にストップしたことによるもの。

営業利益減収要因

- ・ 売上高減少によるもの(前年同期:不動産売上高(セキユメゾン) 445百万円)。

経常利益減益要因

- ・ 仕入れコストの安定化を図るために導入している通貨スワップ取引が、欧米の金融危機が継続、これを受け政策金利の引き下げ等により、一方的な円高が進んだことでデリバティブ評価損(87百万円)、為替差損(13百万円)が発生した。

当第2四半期純利益減益の要因

- ・ 経常利益減益要因と同じ

1. 第12期(21/5期)第2四半期決算概要について



1-(2) 貸借対照表の概要

		20年5月期(中間) (百万円)	21年5月期(第2四半期) (百万円)	増減(百万円)
資 産	流 動 資 産	652	503	149(現預金+214、受取手形 321、その他 45、他)
	固 定 資 産	75	399	+324(出資金+200、建物+67、 保険積立金+30、他)
	資 産 合 計	728	902	+174
負 債	流 動 負 債	248	353	+105(デリバティブ債務+124、 工事未払金+45、短期借入金 +80、他)
	固 定 負 債	240	291	+51(長期借入金+50、他)
	負 債 合 計	488	645	+156
純 資 産 合 計		239	257	+18
負 債 ・ 純 資 産 合 計		728	902	+174

2. 第12期(21/5期通期)重点施策について



営業構造の強化

- ・既存店エリアでのパートナー確保による営業基盤強化
- ・ホームメイキャップネットワークス加盟店展開
- ・ホームメイキャップ工法の代理店展開
- ・構造物の耐久性強化マーケットへの進出
- ・「環境」「緑化」マーケットの進出

技術力の強化

- ・スケルトンはく落防災コーティング技術のNETIS登録
- ・NETIS登録スケルトン耐震防災コーティング技術の第2ステージ研究開発
(ガラス繊維1層による耐震防災性能の充足)

施工力の強化

- ・ホームメイキャップマスターの増員
- ・施工生産性の改善強化
- ・実行予算管理システムの改善

経営管理機能の強化

- ・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレートガバナンスの整備
- ・内部統制への対応

組織構造の強化

- ・管理職、支店長クラスの人材育成
- ・管理部門の組織体制整備



下期も継続して推進中

3 第12期(21/5期通期)業績予想について



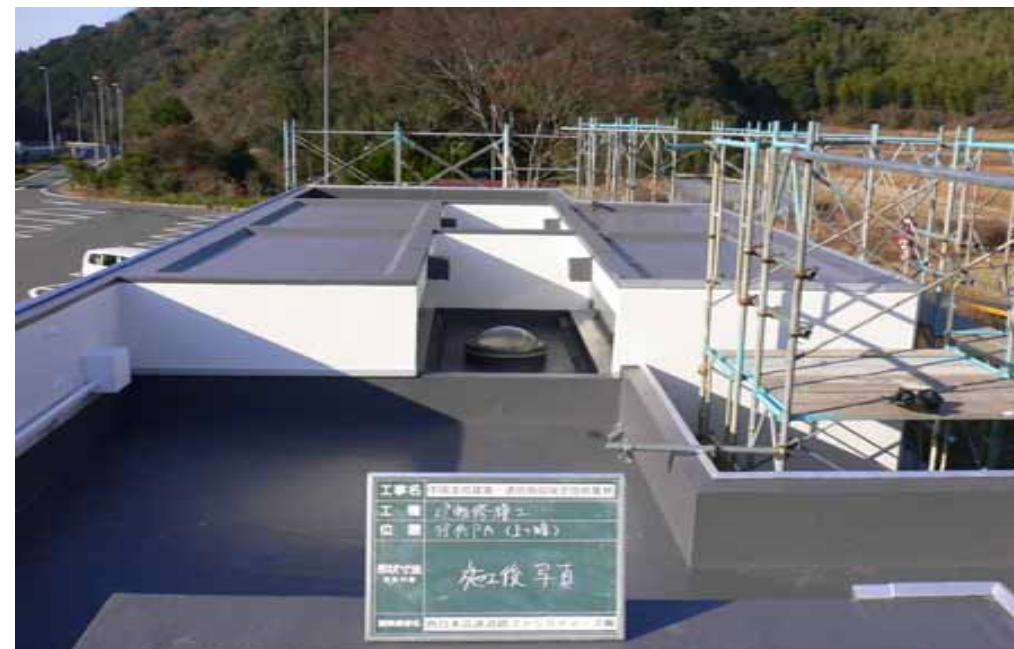
	平成18年5月期 (実績)		平成19年5月期 (実績)		平成20年5月期 (実績)		平成21年5月期 (計画)		
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	計画 (百万円)	中間期 実績 (百万円)	達成率 (%)
売上高	547	145.2	838	153.3	1,101	131.3	962	404	41.9
経常利益	49	120.5	50	100.6	43		48	76	
当期純利益	27	74.4	28	103.3	60		32	76	
(法人税等調整額)	23		20		3		15		

4 施工事例(公的な建造物)

(1)伊佐PA



施工前



施工後

4 施工事例(公的な建造物)

(2) 橋梁改修工事



施工前



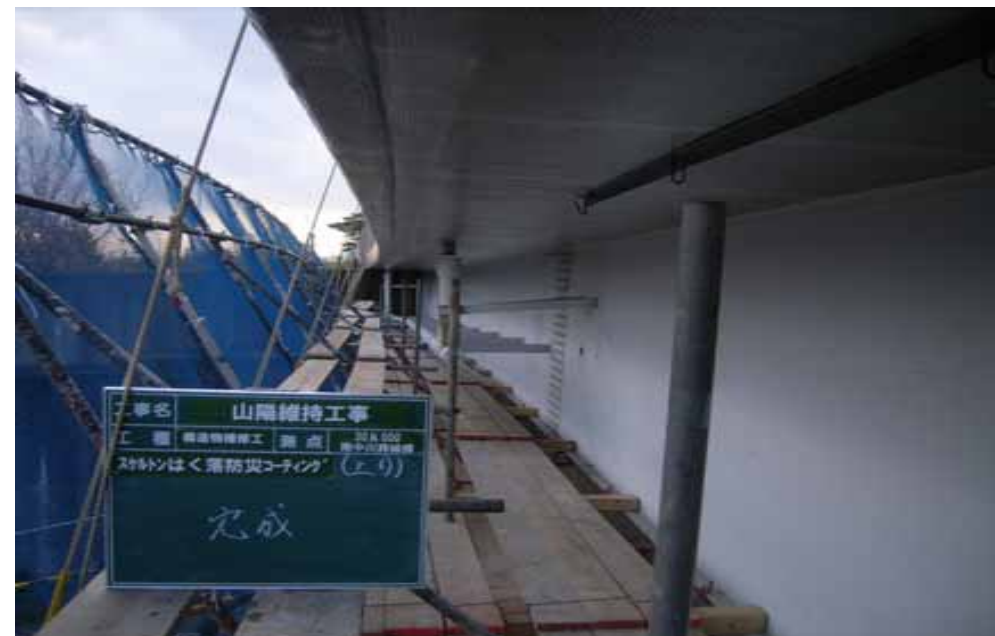
施工後

4 施工事例(公的な建造物)

(3) スケルトン剥落防災コーティング



施工前



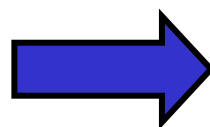
施工後

4 施工事例(公的な構造物)

(4) 剥落防止施工

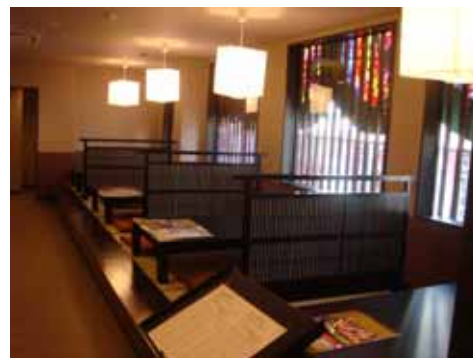


施工前



施工後

4 施工事例(建築部門)



山口県周南市(寿司屋)



山口県宇部市(料理店)

一層の業容拡大を図るために新規事業への参入をテーマとした以下の2つの事業戦略を最重要的に行います。

(1) . 株式会社ジパングの株式交換による完全子会社化

(2) . 緑化事業について

5 今後の事業戦略について



(1) 株式会社ジパングの株式交換による完全子会社化

平成21年3月6日基本合意書締結

平成21年6月1日株式交換予定日

基本合意の目的

今後の事業戦略として、業務の更なる拡大及び事業の多角化を目的とした新規ビジネスを行うことを重要課題としており、一方、基本合意書締結先の株式会社ジパングは今後最も有望視されている金生産ビジネスで実績を有しており、鉱山操業の更なる効率化及びリラクゼーション事業における企画開発ビジネスの促進・強化を最重要課題としております。

株式会社ジパングの鉱山操業、とりわけ管理手法の更なる効率化については、当社の施工管理マネジメント手法を応用、また、リラクゼーション事業における遊休不動産やホテルのリノベーション、温浴施設やSPA等の開発に、塗装技術及び建築内外装施工技術の活用が有用と考えられます。

よって、両社は、両社が持っている強みを効率よく活用することで、両社が保有している重要課題を解決することを目的として、株式会社ジパングを当社の完全子会社とするための株式交換を行うことについて基本的に合意しました。

(2) . 緑化事業について

21世紀の課題である温暖化対策。さらに都市部のヒートアイランド対策など、その問題は深刻化しています。民間施設をはじめ教育施設や公共施設まで、その対策への積極的な取り組みは社会的にも強く求められています。その解決策のひとつとして、環境緑化は手軽にできる有効手段としてニーズが高まっています。

また、人々の暮らしのそばに緑を提供するという面においても価値のある活動として、それを自社の建物のアピールポイントにする企業も増えてきています。「環境」「緑化」は、まさに21世紀が求めるビッグビジネスであり、耐震補強とともにこの分野においてもリーディングカンパニーを目指します。

事業の内容は、次の3つの事業で構成されます。

1. グリーンデニム事業

スナゴケを活用した屋根緑化の施工、販売、企画

2. 造園事業

ガーデンメンテナンスの実施、剪定、グランドターフの販売・施工、その他造園関係 等

3. PFI事業

(1) 花・ハーブ・野菜・観葉植物の生産 他

(2) 公共施設内の花壇の維持管理、農業等に関する作業訓練等

5 今後の事業戦略について

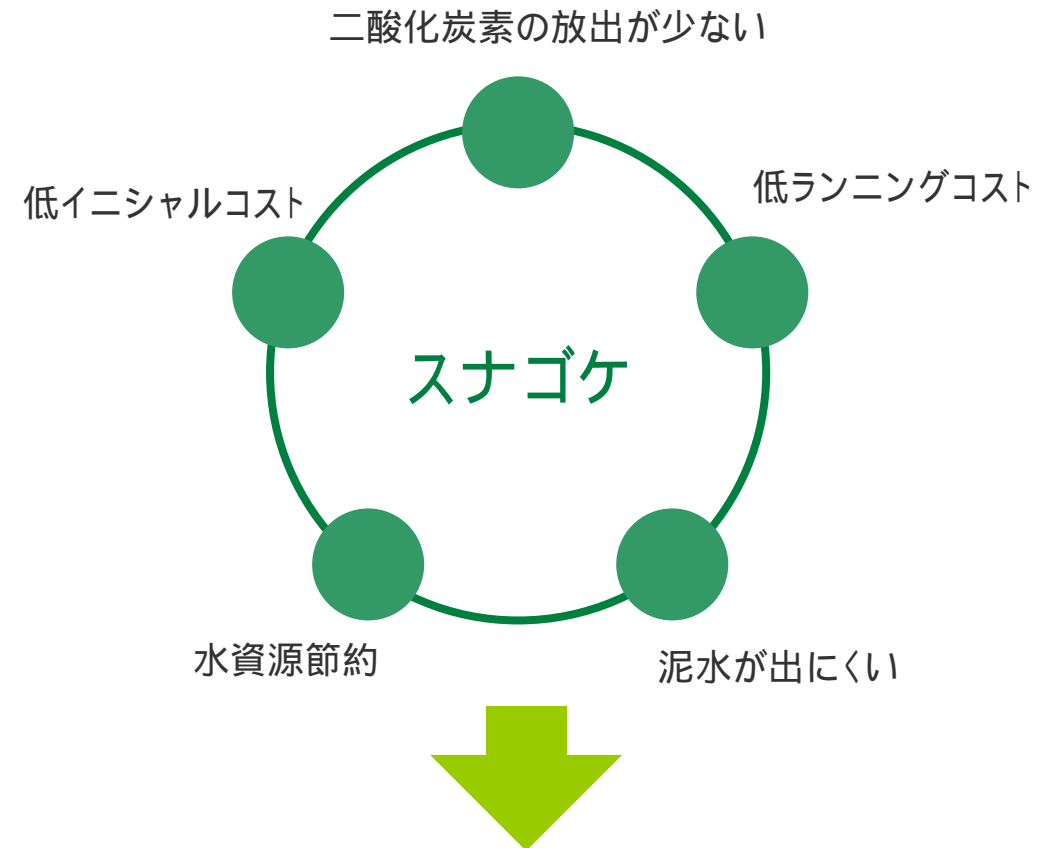
グリーンデニム事業について

スナゴケの特徴

- 1 日当たりのよい場所を好む
- 2 乾燥に強く、雨水・夜露のみで育つ
- 3 ガラス・ステンレス・石等の無機質な基盤を好む
- 4 暑さ、寒さに強い

スナゴケの利点

- 1 一般植物と違い、枯れた時に二酸化炭素を放出しない
- 2 水管理は通常、自然に委ねるだけ
- 3 基本的にメンテナンスフリー
- 4 土を必要としないので、泥水などが出にくい
- 5 軽量であるため、建物の補強を必要としない



屋上緑化から屋根緑化へ

スナゴケによる屋根緑化

CO₂吸収

遮熱によるエネルギー効率のアップ

雨音の遮音

保水性

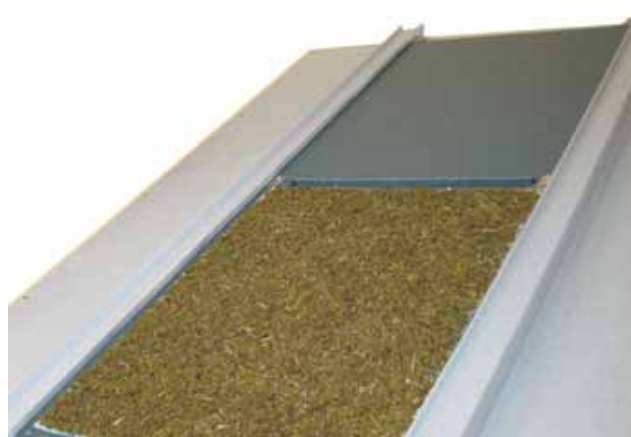
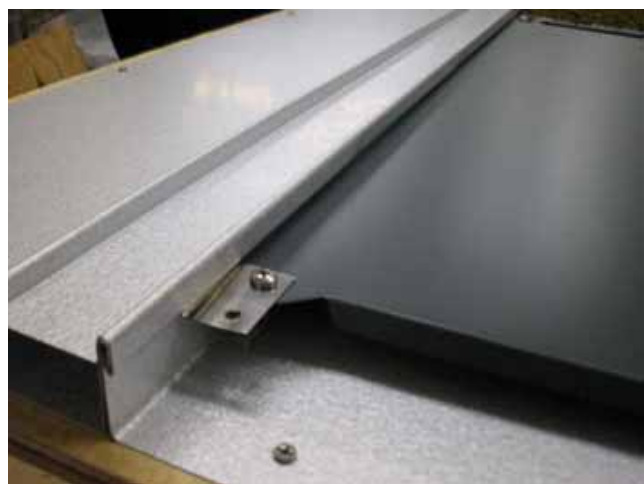
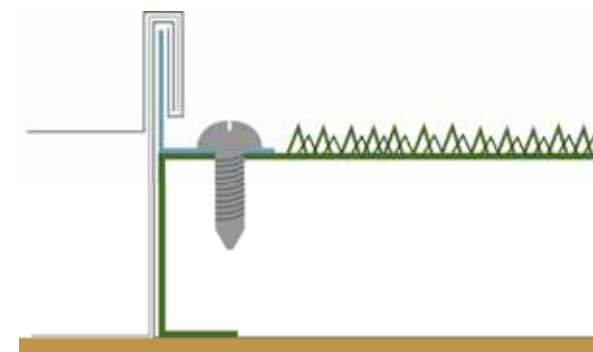
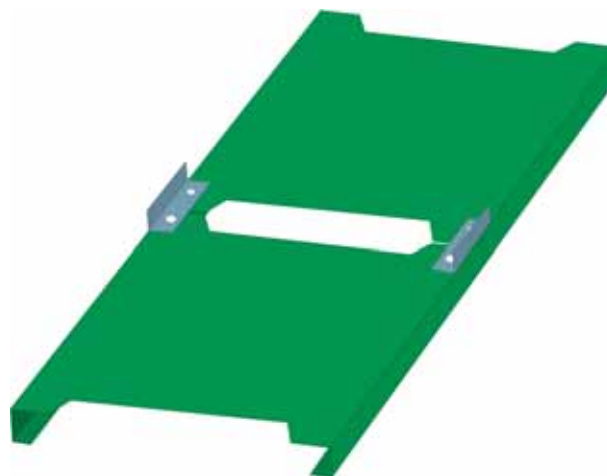
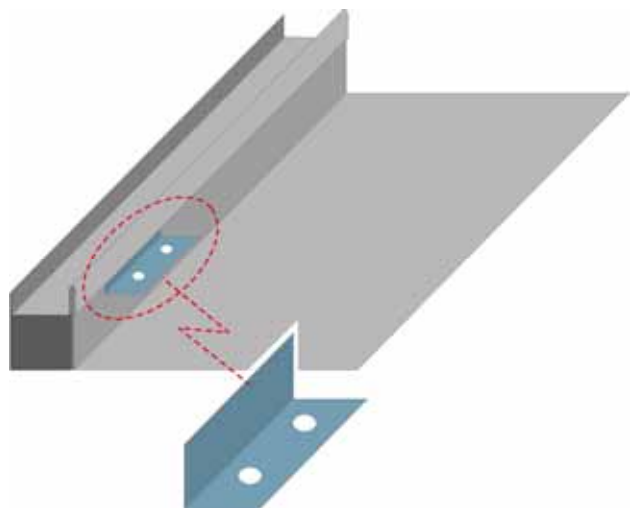
二重屋根構造による防水効果のアップ

屋根材の耐久性アップ

メンテナンスの低減

5 今後の事業戦略について

屋上緑化中空施工の技術概要



5 今後の事業戦略について

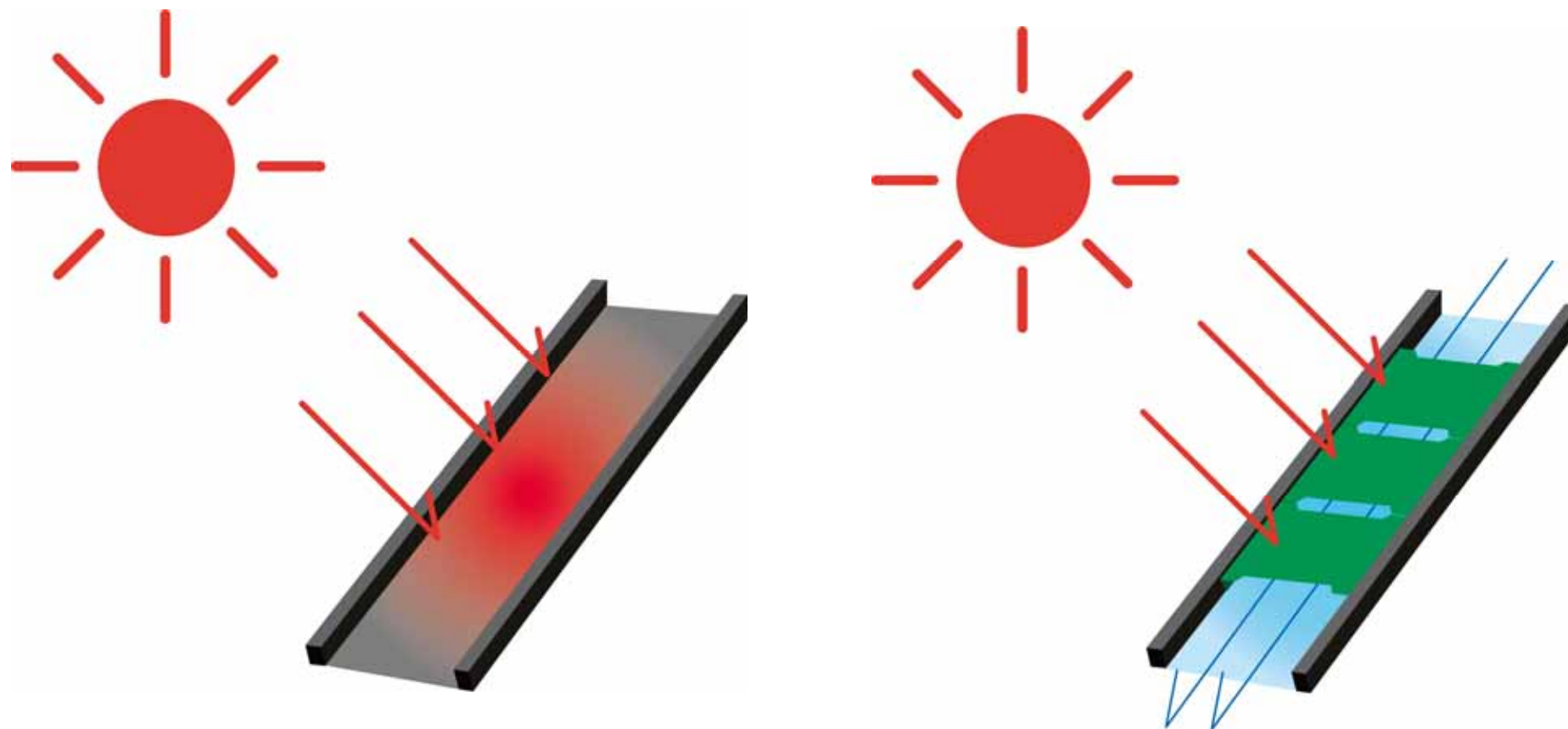


屋根緑化の全体イメージ



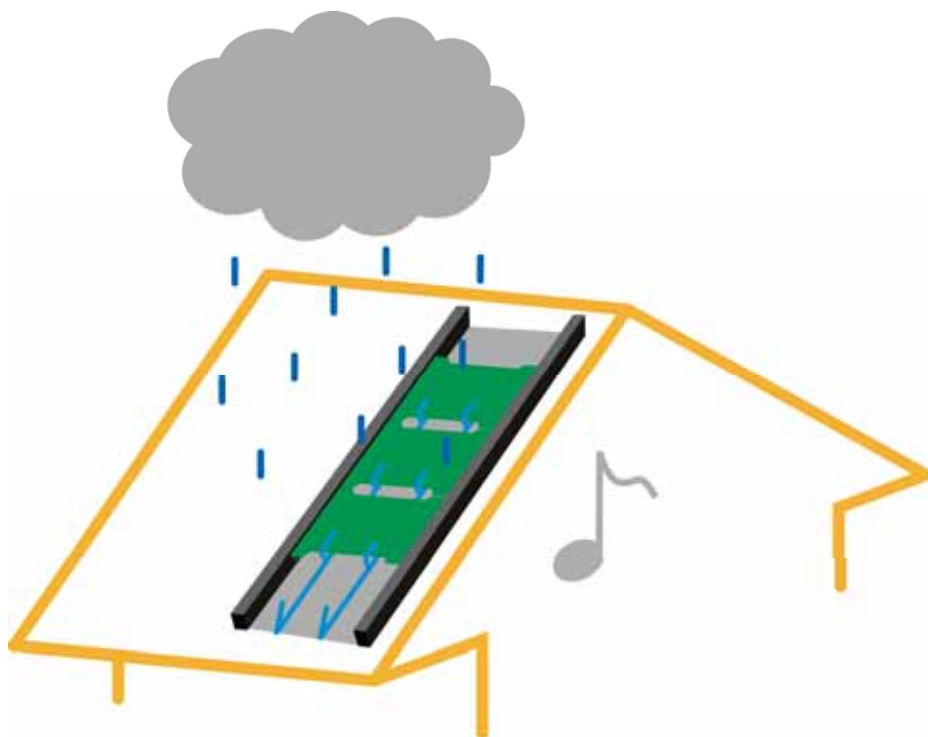
トタン屋根に中空施工

- 1 空気層をつくる事で遮熱効果及び通気することで湿気防止

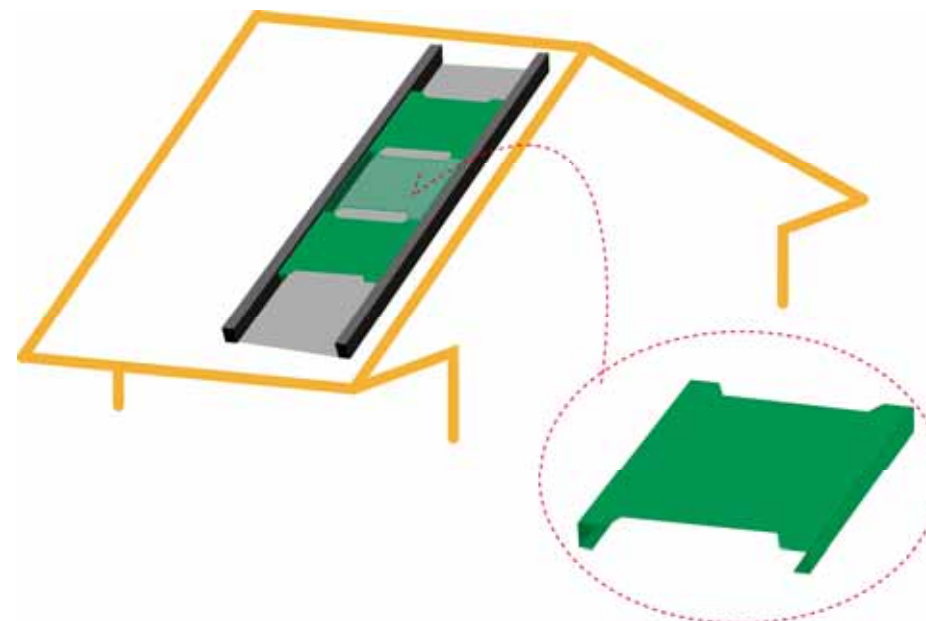


5 今後の事業戦略について

2 雨音の遮音及び保水性



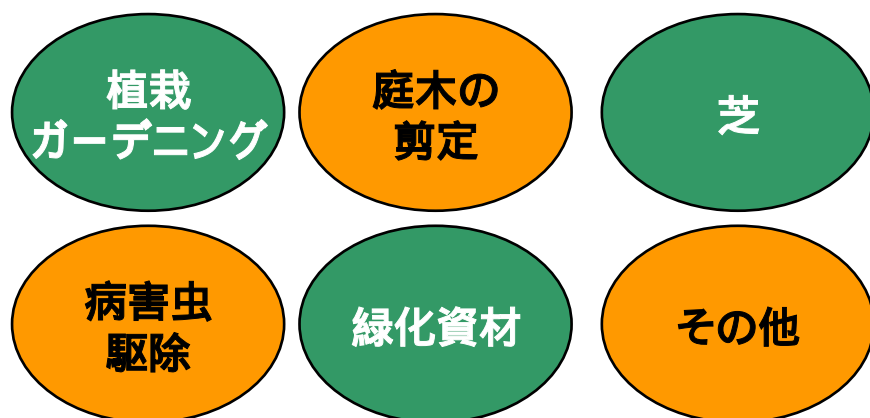
3 容易なメンテナンス性



5 今後の事業戦略について

)造園事業

1. 造園や土木・建築など、各分野の専門技術者が一体となって理想の庭造りのお手伝いを致します。



5 今後の事業戦略について

3. 施工実績



5 今後の事業戦略について

)造園事業(強芝)

「強芝」はCO₂削減、ヒートアイランド対策に最適な特性を誇る、従来芝を超えた緑化植物です。



CO₂の吸収率が高く、大気浄化機能に優れているとともに、水分を多く含むためヒートアイランド対策にも非常に有効な働きをします。

「特徴」

- 芝刈り回数が少ない
- 雑草の進入に強い
- 耐圧に強く、回復が早い
- 日陰や海辺の悪条件でも育つ
- オールシーズンの緑化が可能
(常に緑ではありません。)

強芝……………暖地型草種の在来種を、寒冷地方でも生息できるように品質選抜改良した品種です。緑葉期間が長く、繁殖性・耐陰性・耐塩性にも優れており、病虫害、雑草の進入、踏圧にも強いなど、非常に維持管理しやすいという特徴を持っています。そのため、屋上・校庭・駐車場・道路法面などの緑化に最適で、従来の芝生に代わる新しい緑化植物として注目を集めています。

従来芝では生育が困難だった場所にも対応でき、幅広い目的・環境に使用できます。

維持管理費低減

地球温暖化対策

雑草対策

在来芝が生育困難な場所の緑化対策

5 今後の事業戦略について

雑草の生えにくい環境を作り上げるグランドターフ。



強芝使用

雑草の浸食を抑制する作用により鮮やかな緑を形成維持



日本芝使用

雑草に浸食され芝が衰退し地面が露出している状況



雑草の浸食を防ぐ強芝の試験

強芝を植えた部分は殆ど雑草が見られない。

アスファルト面に比べ、地表面温度が最大19.6度低いという結果がでました。

【大阪府が実験したヒートアイランド対策】

2003年8月に大阪府は、府庁駐車場に強芝を植え、2004年7～8月の5日間にわたって地表の温度を調べる実験(企業やNPO等参加)を行った。その結果、アスファルト面と比べ地表面温度が最大19.6度低く、強芝を全面に植えた区間ほど、温度低下の効果が見られた。大阪府はホームページで実験結果を公表し、緑化の普及を呼びかけることにした。(当時商品名:グランドターフ)



5 今後の事業戦略について

施工実績

